

アイデア提案書

提案番号	No.18-4		
提出年月日	平成30年 8月15日	受付年月日	平成30年8月15日
所属		職名・氏名	
提案件名	再任用職員のノウハウを生かした業務		
提案の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input checked="" type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input checked="" type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input checked="" type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	総務課		
現状及び問題点	<p>(実施の必要性について具体的に)</p> <p>商工会、商工会議所、観光協会、陶友会、漁協、社協には、毎年市から多額の運営補助等をしているが、市内の商工業、観光業、備前焼、福祉の振興が図られていない。原因は、各団体の職員不足と企画力・営業力の不足による「動けない・動かない体制」によるものです。各団体からは市に対し更なる支援や要望等が強く、団体の将来性が見えてこない。担当部署だけでは解決できない問題がある。その他として、上記問題以外に、宿日直業務による職員負担があるほか、市道や市有地には雑草や不法投棄ゴミが多く見た目が非常に悪い。</p>		
提案の内容	<p>(実施の方法について具体的に)</p> <p>今後、増えてくる再任用者については、長年の行政・人生経験を生かして、行動力のある職員には、期限付き（5年程度）で各団体の事務局長として派遣任用し、各組織の人的・運営支援を行う。（退職後の出向も支援する）</p> <p>その他の再任用者は、庁舎管理、市道管理といった美化業務に携わっていただく。また、窓口業務の得意な再任用者には、戸籍や税、福祉などの窓口業務に携わり、併せて新人・若手職員の「教育係」として取り組んでいただく。</p>		
期待される効果	<p>(効果について数量等を具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体と市との連携が図られる。 ・各団体の会計をチェックし、適正な補助金を支出できる。（監査機能） ・補助金を減らし「人的支援」による団体の支援と発展に寄与できる。 ・各団体が実施するイベント等を主体に行い、催事を盛り上げる。 ・教育係で、若手職員のスキルアップ。 ・再任用者のイメージアップ。（引退後も活躍している姿） 		
担当課検討結果	<p>経験豊かな再任用職員の適正な配置は必要であると考えます。</p> <p>現時点でも「公益的法人等への備前市職員の派遣等に関する条例」に基づき、財団法人備前市施設管理公社への派遣を行っているところですが、現在の規定</p>		

のままでは、ご提案すべての組織に職員を派遣することは出来ないので、条例の改正が必要となります。

さらに、再任用職員は、職員定数内にカウントされますので、複数の組織に派遣するとなれば市役所自体の職員数が減り、職員の業務増が考えられるとともに、各組織の自立が損なわれることも考えられます。

よって、一概に市の職員が各組織の運営主体を担うことはいかかなものかと考えます。

ご提案していただいた再任用職員のノウハウは活かせる業務への配置については、今後も検討していきたいと考えています。

提案事項審査報告書
(アイデア提案用)

提案番号 No.18-04	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 再任用職員のノウハウを生かした業務

問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	実現性	合計 (総合評定)
3.7点	2.7点	3.0点	3.2点	2.7点	3.1点	2.8点	21.1点

優秀賞に至らず。

【意見】

- ・再任用職員のノウハウを生かした配置という視点は良いと感じる。各団体への派遣についても、補助金による支援だけではなく連携強化や人的支援の意味では有効と思える。しかし、職員定数が変わらない中、派遣職員が増加することの業務負担も考慮する必要があると思われる。各団体の自主性強化の方策は何か必要だとは感じる。
- ・監査的役割の部分には賛成。しかし提案内容にある窓口業務に携わる・若手の育成は、若手の自分からすると正直、ぜひ!とは言い難いかなと・・・
- ・再任用職員の配置については、職員の業務増の問題も考えられることから各団体への派遣よりも、市役所内で今までの経験を活かし職員への支援を行っていただきたい。
- ・圧倒的な行政経験から、その効果は多大であると思われませんが、一方で職員数の枠を圧迫してしまうので、費用対効果は低めにしております。
- ・再任用者について、長年の行政・人生経験は十分に活用することができると思うが、そこに職員定数にカウントしてまで再任用の形をとることに費用対効果や効率性を感じない。期待される効果に書かれていることについては再任用者でなくてもいいものが多いと感じる。
- ・再任用職員の経験が市のみならず、関係機関の活動にも生かされるべきであるという視点、市内の各種団体の活性化を図るべきであるという問題意識については重要であると思います。
- ・もっとも、特に関係機関への派遣を検討した場合、公的な役割を持つとはいえ、あくまでも民間機関である各種団体の活動に行政がどこまで介入することが適切なのかという点が問題になるのではないかと考えます。
- ・行政経験のある職員の要否や、個々の職員の適性の判断など、各団体の判断にゆだねるべきであり、ある程度派遣の際にすり合わせがされるとしても、やはり派遣という形ではなく、各団体の判断で、元行政職員を採用すべきかどうかを決めるべきなのではないでしょうか。
- ・再任用職員の配置について担当課で検討を進めるということでもあるので、再任用職員の配置についてはまずはその推移を見守ることとし、また、提案者の方が問題意識として持っておられる各団体の活性化については、他の手段、方法について更なる考察を期待することとして、本提案は不採用とするのが相当と考えます。
- ・良いと思うが、天下りと言われぬようにしっかりした成果を求めたい。
- ・各団体に派遣する職員が、再任用職員であるメリットが分かりません。現在の日直業務時に、OBが新人・若手職員の「教育係」として、普段の業務だけでは学べないことを学べる機会はともありがたいので、続けてほしいです。